

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-161588
(43)Date of publication of application : 19.06.2001

(51)Int.Cl.

A47K 5/12

(21)Application number : 11-353369

(71)Applicant : TOTO LTD

(22)Date of filing : 13.12.1999

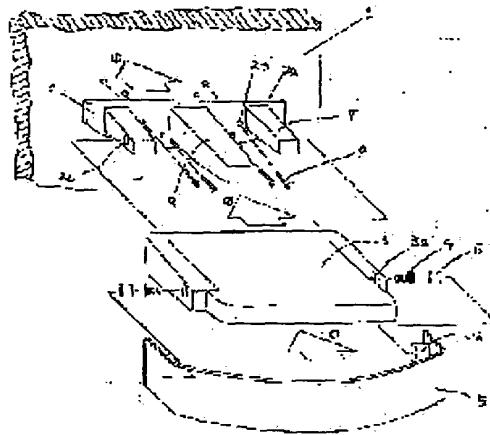
(72)Inventor : KOTO KEIZO

(54) RACK FOR FIXATION TO WALL SURFACE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a rack for fixation to a wall surface to be mounted to a wall surface in a bathroom, etc., without damaging design at the time when a rack main body and rack mounting device are mounted to a wall surface nor rattling.

SOLUTION: This rack to be mounted to a wall surface in a bathroom, etc., is constituted of both a rack mounting device to fix the rack to a wall surface and a rack main body to be fitted over the rack mounting device in a state mounted to a wall surface in such a way as to cover the rack mounting device from the front. The rack main body is provided at its both sides with side surface parts capable of being fixed to the rack mounting device and is fixed to the rack mounting device by a spirally engaging means. By fitting the rack main body in such a way as to cover the previously mounted rack mounting device, it is possible to cover the rack mounting device completely. By spirally engaging the rack main body with the rack mounting device, it is possible to perform rattleless fixation and provide a sense of integrity between the rack and wall surface.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-161588

(P2001-161588A)

(43)公開日 平成13年6月19日(2001.6.19)

(51)Int.Cl.*

A 47 K 5/12

識別記号

F I

A 47 K 5/12

マーク*(参考)

B

審査請求 未請求 請求項の数 6 OL (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平11-353369

(71)出願人 000010087

東陶機器株式会社

福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号

(22)出願日 平成11年12月13日(1999.12.13)

(72)発明者 古藤 圭造

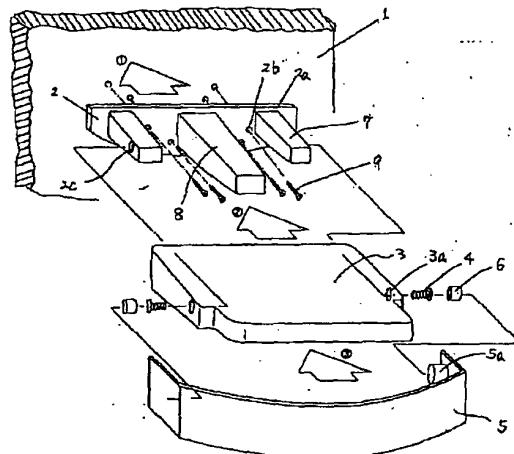
福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号 東陶機器株式会社内

(54)【発明の名称】 壁面固定用棚

(57)【要約】

【課題】浴室等の壁面に取付けられる棚であって、棚本体と棚取付け具を壁面に取付ける際意匠性を損ねることなく、且つ、ガタツキを生じることのない壁面固定用棚を提供することを目的とする。

【解決手段】浴室等の壁面に取付けられる棚を、壁面に固定する棚取付具と、棚取付具を壁面に取付けた状態で前方より棚取付具を覆うように挿着される棚本体から構成し、棚本体は両側方に棚取付具に固定可能な側面部を備え、棚取付具に螺合手段により固定されていることを特徴としたので、あらかじめ取付けられた棚取付具を覆うように棚本体を挿着することにより、棚取付具を完全に隠すことができることができ、棚本体と棚取付具を螺合することにより、ガタツキのない固定ができ、且つ、棚と壁面に一体感をもたせることができる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 浴室等の壁面に取付けられる棚であつて、

前記棚は、壁面に固定する棚取付具と、前記棚取付具を壁面に取付けた状態で前方より棚取付具を覆うように挿着される棚本体からなり、前記棚本体は両側方に棚取付具に固定可能な側面部を備え、前記棚取付具に螺合手段により固定されていることを特徴とする壁面固定用棚。

【請求項2】 前記棚本体の両側面部より内側に向かって凹部を設け、前記凹部より螺合手段により前記棚取付具に固定されていることを特徴とする請求項1記載の壁面固定用棚。

【請求項3】 前記凹部に着脱自在なガードバーを備えたことを特徴とする請求項2記載の壁面固定用棚。

【請求項4】 前記ガードバーは前記凹部を支点に回動可能なことを特徴とする請求項3記載の壁面固定用棚。

【請求項5】 前記棚取付具は、前記棚本体の両側部を支持する側部支持部と、前記棚本体の略中央部を支持する中央支持部からなることを特徴とする請求項1～3記載の壁面固定用棚。

【請求項6】 前記棚取付具は、前記両側部支持部より前記中央支持部が壁面に固定された状態で室内側に突出していることを特徴とする請求項5記載の壁面固定用棚。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、浴室等の壁面・収納スペースに取付けて、浴室用具を収納する棚本体と棚取付具の構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、浴室に取付けられる棚は、棚本体をネジで直接壁面に固定したり、壁面に取付けられたネジに引掛けたりしており、取付状態を完全に隠す様になっていたいなかった。又、棚本体面に水が溜まるのを防止する水抜き用スリット又は、水抜き用孔が形成されていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来の棚本体及び取付け方法では、取付部及びネジ頭を完全に隠す事ができないので意匠性が悪い（棚と壁面の一体感を損ねる）という問題があった。又、着脱しやすい引掛け方式の為、若干のガタツキを生じるという問題があった。

【0004】 本発明は、上記課題を解決するためになされたもので、本発明の第一の目的は、棚本体と棚取付具を壁面に取付ける際、意匠性を損ねることなく、且つガタツキを生じることのない棚本体及び棚取付具とその取付方法を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段及び効果】 上記目的を達成するために、請求項1の発明では、浴室等の壁面に取付

2

けられる棚を、壁面に固定する棚取付具と、棚取付具を壁面に取付けた状態で前方より棚取付具を覆うように挿着される棚本体から構成し、棚本体は両側方に棚取付具に固定可能な側面部を備え、棚取付具に螺合手段により固定されていることを特徴とした。

【0006】 この発明によれば、あらかじめ取付けられた棚取付具を覆うように棚本体を挿着することにより、棚取付具を完全に隠すことができることを特徴とし棚本体と棚取付具を螺合することにより、ガタツキのない固定ができる、且つ、棚取付具を覆うように棚本体を挿着することにより、棚と壁面に一体感をもたせることができる。

【0007】 請求項2は、請求項1に記載の発明において、棚本体の両側面部に凹部を設け、この凹部は、螺合手段により前記棚取付具に固定されていることを特徴とした。

【0008】 この発明によれば、棚本体両側面部に備えた凹部を利用し取付けることにより、棚本体と棚取付具を螺合している取付けビスを正面視において隠すことができる。

【0009】 請求項3は、請求項2記載の発明において、凹部に着脱自在なガードバーを備えたことを特徴とした。

【0010】 この発明によれば、棚本体の両側面に設けられた凹部に相対する凸部を有するガードバーを取付けた時に、棚本体と棚取付具を螺合している取付けビスを完全に隠すことができるので、意匠性が向上する。

【0011】 請求項4は、請求項3に記載の発明において、ガードバーは凹部を支点に回動可能などを特徴とした。

【0012】 この発明によれば、ガードバーを棚本体の両側面に設けられた凹部を支点に回動させることにより、ガードバーを取り外すことなく棚本体の清掃ができる、清掃性が向上する。

【0013】 請求項5は、請求項1～3記載の発明において、棚取付具は、前記棚本体の両側部を支持する側部支持部と、前記棚本体の略中央部を支持する中央支持部からなることを特徴とした。

【0014】 この発明によれば、棚本体にシャンプー等をのせた場合でも、夫々の支持部に荷重が分散されるため、ガタツキのない固定ができる。

【0015】 請求項6は、請求項5記載の発明において、棚取付具は、両側部支持部より前記中央支持部が壁面に固定された状態で室内側に突出していることを特徴とした。

【0016】 この発明によれば、棚本体の側端部のみならず、最も荷重のかかる中央付近を支持することで、ガタツキのない固定ができる。また、棚本体の成形体における略中央部の反りを矯正できる。さらに、棚取付具の略中央部を支持する中央支持部により、浴室用具を収納

した際でもたわみを生じることのない強度を有し、且つ、棚本体の略中央部の変形（内反り）を矯正することができる為棚本体部での残水を防止することができる。また、棚本体の中央部を奥行き方向に側部より広く取ることができるため、棚本体を扁状に形成することが可能になるため、使い勝手が向上する。

【0017】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の浴室等の壁面に固定する壁面固定用棚の実施形態及び取付け方法を図1から図7に基づいて詳細に説明する。

【0018】

【実施例】図1は壁面固定棚の棚取付具を示す斜視図であり、浴室等の壁面に取付けられる壁面固定用棚の棚取付具2は、壁面1に取付ける為の略平面部2a、棚本体3の両側部を支持する側部支持部7と棚本体略中央部を支持する中央支持部8を有し、前記略平面部2aに壁面固定用孔2bと前記側部支持部には棚本体と螺合する為のインサートナット2cを有する。

【0019】図2は壁面固定棚の棚本体3を示す斜視図であり、図3は壁面固定棚の棚本体を示す斜視図である。棚取付具2は覆うように挿着される棚本体3は、棚本体3の両側面部3bより内側に向かって凹部3aを有し、この凹部は、正面視で螺合手段本実施例では取付けビス4を隠すように形成され且つ断面形状にて略円形形状に形成されている。

【0020】図4に示す通り、棚本体3の凹部に着脱自在なガードバー5は、棚本体部凹部形状と相对する凸部5aを本体内側の両側面に有し、このガードバーを棚本体凹部に取付ける為のカラー6を前記棚凹部に挿着してからガードバー5を取付けることにより、棚本体凹部を支点に回動できるようになっている。また、このガードバー5は棚本体3に取付けられた状態から左右に広げることにより簡単に着脱できるようになっている。

【0021】図5は、棚取付具に棚本体・カラー・ガードバーが取り付いた状態を示す。棚本体凹部3aと棚取付具側部支持部7を取り付けビス4で螺合することにより棚本体3が棚取付具2から簡単に外れることができなく、且つ、ガタツキなく固定できるようになっている。また棚本体3の略中央部を棚取付具中央支持部8にて支持することにより、浴室用具を載せた時には、棚本体略中間部と下方部で受け、棚本体のたわみを抑えることができる。更に棚取付具中央支持部8により棚本体成形時の略中央部の反りを矯正することができるので、棚本体の残水を防止することができる。

【0022】図6は、壁面1に棚取付具～ガードバー取付け迄の手順を示す。棚取付具平面部2aに形成される壁面固定用孔2bを壁面固定用取付けビス9で壁面1に隙

間なく取付けられた状態で、棚取付具側部支持部・略中央支持部に従い前方より棚取付具2を覆うように棚本体3を挿着する。次に棚本体両側面に形成された凹部3aに取付けビス4を螺合し棚本体3と棚取付具2を固定する。このとき、棚取付具2の両側部支持部7と棚本体両側部3bより内側に形成される凹部3aの内側面が螺合される為棚本体3のガタツキを抑えることができる。さらに、図7の状態において、棚本体3の凹部3aが内側に向かって取付けビス4を隠す深さで形成されており、正面視で取付けビス4が見えることはない。次に、棚本体両側面に形成された凹部にガードバー取付け用カラー6を入れ、前記凹部に相对する凸部を両側面に有するガードバー5をとりつける。図7の状態で前記凹部を支点にガードバー5は、回動できる。ガードバー5を取付けた時点で前記棚本体取付けビス4は、完全に隠すことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の壁面固定棚の棚取付具を示す斜視図である。

【図2】本発明の壁面固定棚の棚本体を示す斜視図である。

【図3】本発明の壁面固定棚の棚本体凹部断面図である。

【図4】本発明のガードバーを示す平面図である。

【図5】本発明の壁面固定棚の平面図である。

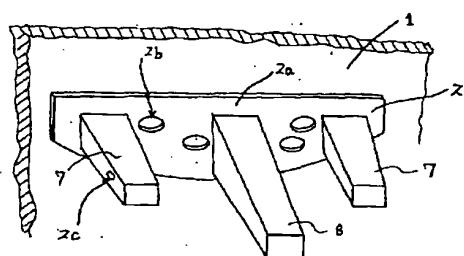
【図6】本発明の壁面固定用棚の棚取付具の棚本体と取付けビス・カラー・ガードバーの取付け方法手順を示す斜視図である。

【図7】本発明の壁面固定用棚の棚本体と取付けビス・カラー・ガードバーが取付いた状態を示す斜視図である。

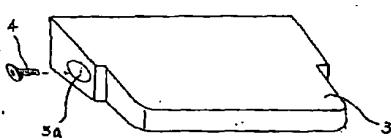
【符号の説明】

1	…	壁
2	…	棚取付具
2 a	…	棚取付具平面部
2 b	…	棚取付具の壁面固定用孔
2 c	…	棚取付具の棚本体螺合部インサートナット
3	…	棚本体
3 a	…	棚本体の凹部
3 b	…	棚本体の側面部
4	…	棚取付具と棚本体の螺合用取付けビス
5	…	ガードバー
5 a	…	ガードバーの凸部
6	…	ガードバー取付け用カラー
7	…	棚取付具側部支持部
8	…	棚取付具中央支持部
9	…	棚取付具の壁面固定用取付けビス

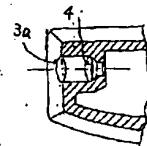
【図1】



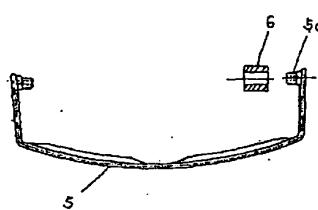
【図2】



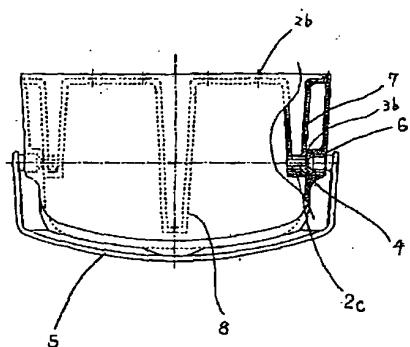
【図3】



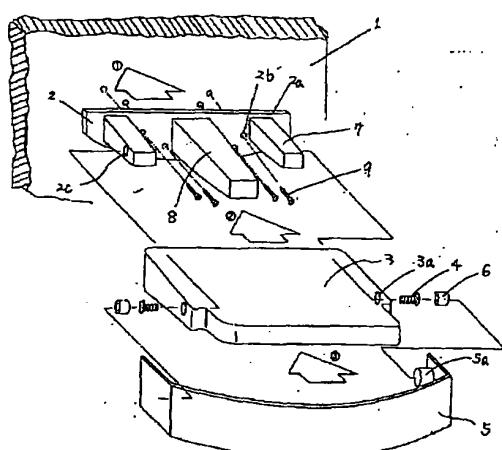
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

